SOUTHERN CALIFORNIA EDISON®
An EDISON INTERNATIONAL® Company

NEWS

メディア関係者用連絡先：モリーン・ブラウン（Maureen Brown） (626) 302-2255

米国サザンカリフォルニアエジソン社白書で原子力発電所を停止する決定に関する追加の経済分析を発表

三菱重工の蒸気発生器の修理選択肢はリスクがあり、未検証、費用も掛かる

アメリカ合衆国カリフォルニア州ローズミード　2013年11月14日– 米国サザンカリフォルニアエジソン社（以下「SCE」）は水曜日白書を発表し、6月にサンオノフレ原子力発電所(以下「SONGS」)を永久に停止するという決定を下したことは三菱重工（以下「三菱」）が提供した取替用蒸気発生器の欠陥を考慮すると適切なコスト軽減策であったことを示しました。白書はwww.SONGScommunity.com/libraryに掲載されています。

「取替用蒸気発生器の欠陥のために発生した状況によりSONGSを停止すると決めたことでかなりのコスト削減が実現した」とSCE社長ロン・リッツィンガー氏（Ron Litzinger)は述べました。「この白書ではSONGSが再稼働が認められるのか又それがいつになるのかの不確実性を考えると、これらのコスト削減はSONGSを操業状態に戻すべく作業を続けることで達成できるメリットより大きかったと示しています。」

SCEはサンオノフレ(SONGS)の再稼働を追求するために掛かる追加コストと市場の他の供給者から電力を購入することを比較しています。SCEの白書はこれらのコストをサンオノフレ(SONGS)の操業ライセンスが切れる予定の2022年までの期間で比較しています。

「この白書は何故この時期に発電所を停止したか、及び何故それがお客様にとっては一番よい選択肢だったのかに関する未だ答えられていない質問に完全に答えるチャンスを与えてくれる」とリッツィンガー氏は述べました。

サンオノフレ(SONGS)を操業するコストは市場から電力を購入するよりは低いと予想されましたが、再稼働が遅れるにつれこのメリットは減少します。逆に再稼働を追求するためにはSCEは人員とシステムを備えておくことが要求されました。再稼働が遅れれば遅れるほどコストは増加し、メリットが減少します。

SCEの白書ではサンオノフレ(SONGS)が近い将来に再稼働しなければコストがメリットを上回ることを示しています。しかしながらサンオノフレのユニット一機だけでも再稼働するには原子力規制委員会(NRC)の承認を得るプロセスを経なければならないことを考えると、近い将来の再稼働は起こりそうにありませんでした。

更にSCEの白書は三菱が出したアイディアで欠陥のある蒸気発生器を修理するために追加費用を投じることは賢明ではなかったことを示しています。三菱が出したアイディアの一つは予備的なものであり、三菱はこのアプローチが技術的に実行可能又はNRCにより承認されたであろうと言うことを立証することを怠りまし

た。三菱のもう一つのアイディアも予備的で、リスクがあり、費用が掛かり、発電所が直ちに再稼働出来なければ経済的にも現実的ではありませんでした。

「SCE はSONGSを再稼働したいと願っていた」とリッツィンガー氏は述べました。「しかし再開の承認を得るのにかなりの遅延に直面したことに鑑み、又追加の遅延の可能性が高いことからも、その選択肢を残しておくために引き続き費用を掛けることはこれ以上意味がなかった。本白書における経済分析はSONGSを停止するという決定が経済的に堅実であったことを示している」

10月にSCEは、三菱が設計した取替用蒸気発生器の欠陥によって生じた一切の損害を取り戻すべく、三菱を相手に賠償請求の仲裁を申立てました。

SCEは三菱の取替用蒸気発生器の欠陥に関する重要文書を電子文書ライブラリー（www.SONGScommunity.com/library参照）にて公開していますが、三菱がその他の重要文書の公開を拒否し続けているため、不完全なままとなっています。

SCEは6月7日付けの通知において、サンオノフレの2号機と3号機の運転を永久に停止し、原子力発電所を廃炉とする措置をとることを発表しています。SCEについての詳しい情報はTwitter および Facebookをご覧ください。

サザンカリフォルニアエジソン社について

エジソンインターナショナル社（NYSE:EIX）の傘下にあるサザンカリフォルニアエジソン社は、米国内最大規模の電力会社のひとつであり、カリフォルニア州の中部・沿岸部・南部の5万平方マイル（約13万平方キロメートル）に及ぶ地域の490万件の顧客先を通じて、およそ1400万人に電力を供給しています。

-###-